

団体記載例⑥(移住・定住、企業との連携)



「ディスカバー^む農山^ら 漁村の宝」応募用紙（団体用）

都道府県名（必	〇〇県	市町村名（必須）	〇〇市
----------------	-----	-----------------	-----

団体名（必須）	〇〇プロジェクト
----------------	----------

1. 団体の概要（必須）

〇〇県〇〇市は、日本一の〇〇の産地であるが、農業従事者の減少や高齢化といった課題を抱えていることから、地方銀行が中間支援組織となり、農業者を支援するための「〇〇プロジェクト」を〇年に立ち上げた。

本プロジェクトには〇〇市、〇〇を原料として加工品を製造する株式会社〇〇、ボランティアを集客する旅行会社が連携。

2. キャッチフレーズ（必須）

〇〇を軸とした官民共創

3. 活動のきっかけ（必須）

〇〇が原料の加工品を製造・販売する株式会社〇〇では、〇〇産業の課題解決に向けて〇年度から〇〇の収穫作業のボランティアに社員が従事していた。

また、〇〇産業の活性化のため、〇〇社から企業版ふるさと納税による寄付について申し出があったことから、地方銀行〇〇が中心支援組織となり〇〇市と株式会社〇〇をマッチングし、収穫ボランティアツアーを企画。

4. 取組概要（必須）

企業版ふるさと納税を財源に官民連携のボランティアツアーを実施し、〇〇産業の活性化や関係人口を創出

5. 取組の具体的内容及び成果（効果）（必須）

1) 〇〇プロジェクト

地方銀行〇〇が重労働である〇〇の収穫作業に困っていた農家と〇〇を原材料とする株式会社〇〇をマッチングするため、農家の参加に〇〇市の協力を得て、〇〇プロジェクトを設置。

〇年〇月に全国から収穫ボランティアの参加者を募り、〇〇市の〇〇農家の下で従事する援農ボランティアツアーを合計〇日間実施。参加者の負担軽減や一体感醸成のため、農作業時の作業着や長靴、タオル等には本プロジェクトのロゴマークをつけた。

ツアー参加者には地元食材を使用した弁当を提供したほか、株式会社〇〇の加工品をお土産として配布するなど、参加者には〇〇市の関係人口となるよう、ツアー前後の観光滞在に関する情報提供などの支援を行った。

2) 効果

収穫ボランティアを受け入れた農業者は作業の負担軽減につながったほか、〇〇名の参加者による宿泊や飲食、お土産購入などの地域経済の活性化につながった。

また、ツアー参加者からふるさと納税が寄付されるなど、関係人口の創出に貢献したほか、参加企業や参加農家からは継続的な活動を望む声があがるなど、〇〇産業の継続に大きな期待。

3) 視察受入れ・情報発信

地域課題の解決と地域活性化を目的に、企業と連携した商品開発や人材交流、農業体験、社員研修、ワークショップ等を実施している。また、取組内容をSNSやHP、地域イベント等を通じて積極的に発信するとともに、全国の自治体や企業からの視察を受け入れている。年間〇件、延べ〇人以上の視察を受け入れ、企業連携による地域づくりのノウハウを共有した結果、〇つの地域で類似の取組が展開されている。また、SNS総閲覧数は年間〇万回を超え、新たに〇社との連携が実現した。地域活動への参加者数も年間〇人から〇人へ増加し、地域の担い手確保や関係人口の創出につながっている。

団体記載例⑥(移住・定住、企業との連携)

6. 活動実績 (必須)							
項 目	単 位	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度 (見込み)
ツアー参加者数	人			100	200	300	400
	解説: ボランティアツアー参加者の延べ人数						
宿泊者数	人			10	50	150	200
	解説: 県外等からの参加による宿泊者数						
参加農家数	人			10	20	30	40
	解説: ボランティアを受け入れた〇〇農家数						
視察者等の数	回数				1	5	20
	解説: 本プロジェクトの取組の視察者や講演会など						

7. 活動の主な変遷 (必須)						
初年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度	R〇年度 (見込み)
株式会社〇〇 の社員によるボ ランティア開始				地方銀行が地 中間支援組織 となる	〇〇市との 連携により プロジェクト の規模拡大 化	プロジェクト の規模拡大

8. 今後の展開方向 (必須)
<p>令和〇年度には前年度のツアー内容を充実化させ、参加者には〇〇市の関係人口となってもらえるように宿泊前後の観光滞在プランを提供することとしている。</p> <p>本プロジェクトのPRに努め、更なる受け入れ農家の拡大を図るとともに、営農に意欲のある参加者の農業体験・研修など後継者の育成にもつながるよう、収穫時以外の作業についても受入れの拡大を図る。</p>

9. 活動状況がわかる写真、効果を示す図表 (必須)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div>
()	()

団体記載例⑥(移住・定住、企業との連携)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>
()	()
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">写真・図表等</div>
()	()

10. 表彰等の受賞歴 (該当あれば)	
表彰名等(受賞年度)	主催者
第〇回〇〇アワード金賞(〇) むらづくり〇〇賞	〇〇アワード実行委員会 〇〇〇振興会

11. 活動に関するPR・エピソード (自由記入、写真等添付可)
<p>日本全体で人口減少が進行し、地域経済の縮小が課題となる中、それぞれの地域にあるポテンシャル(資源)を生かした地域づくりが重要となっている。</p> <p>今後、農山漁村の関係人口の増加を目指し、民間企業、教育機関、金融機関等多くの関係者を巻き込む官民共創の仕組みを活用し、農山漁村における地方創生に取り組むことが重要と考え、地方創生に取り組む〇〇銀行が中間支援組織となり、〇〇市や株式会社〇〇と連携し、〇〇産業の継続に努めている。</p> <p>本プロジェクトは他分野でも同様に取り組めるものであり、視察の受入も増え、講演なども行っているところであり、他地域への横展開にも期待している。</p>

12. 応募いただいた連絡先に、今後、農水省より各種施策等に関する情報をお知らせする場合があります。希望する場合は右の□に✓をご記入ください。	情報を希望する <input type="checkbox"/>
--	-------------------------------------